

※この文章は、IFLA『絵本で知る世界の国々—IFLA からのおくりもの』第3版カタログ(→[THE WORLD THROUGH PICTURE BOOKS, 3RD EDITION \(2023\)](#))のうち、序文、基本情報と各国・地域の選定基準を、国立国会図書館 国際子ども図書館が翻訳したものです。まだ国際子ども図書館に資料が届いておらず、今回展示資料がない国についても、カタログどおりに記載しています。

はじめに

司書かつ教育者として、私たちは、子どもに他国の作品を含む様々な文学の読書を促すことで、国際理解を促進させ、多様な見方や視点を受け入れる広い心が育まれる、と考えています。Hazel Rochman氏は、著書「国境に対して」で次のように書いています。

「素晴らしい本は、国境を壊します。その舞台が身近な場所だろうが外国だろうが、私たちが驚かせます。私たち自身に対する見方を変えてくれます。「私^{ラ・イ・グ・ミ}のような」という言い回しを、異なるもの・未知のものと思っていた物事にまで広げるのです。」(Rochman 1993, 9)

今こそ、児童文学をとおして国際理解を促す時でしょう。IFLA 児童・ヤングアダルト図書館分科会と「絵本で世界を知ろうワーキンググループ」は、37 言語・57 か国から選ばれた、530 冊の本を収録する、『絵本で知る世界の国々—IFLA からのおくりもの』第3版を発行できたことを光栄に思います。

「絵本で世界を知ろうプログラム」は、2011 年の依田和子氏による分科会会員への、各国の絵本ベスト 10 の推薦依頼から始まりました。これを受けて、前分科会委員長の故 Viviana Quiñones 氏と分科会会員 Annie Everall 氏が同年にワーキンググループを始め、同プログラムに着手しました。2015 年に改訂第2版を発行し、2023 年となった今、第3版を発行することができて嬉しく思います。

世界中の司書から協力を得て、各国の素晴らしい絵本を共有してもらうこのプログラムは、私たち分科会の中心的な活動です。『絵本で知る世界の国々』は各版で、より多くの国(そして言語グループ)に参加してもらうことに挑戦してきました。特に、パンデミックの間は挑戦でしたが、オーストリア、中国、ギリシャ、ケニア、メキシコ、ウクライナといった、これまで未参加だった国々に参加いただくことができました。

このプログラムのもう一つの要素は、カタログに掲載している本の実物が2セットあり、それらは貸出しが可能なことです。フランス国立図書館と日本の国立国会図書館が所蔵しており、展示を希望するあらゆる国に貸し出せます。

このカタログの作成は奉仕の活動であり、不屈に、忍耐強く、献身的に取り組む必要があります。下記の方々に感謝申し上げます。共同コーディネーターの Annie Everall 氏と Claire Stuckey 氏、ワーキンググループの Razina Akhter 氏、Maria Alekseeva 氏、

Emilie Bettega 氏、Antonella Lamberti 氏、永野祐子氏、Anton Purnik 氏、Ludy Rueda 氏。グループの一員ではありませんが、校正者として参加してくれた Carolynn Rankin 氏ほか、児童・ヤングアダルト図書館分科会会員の数名、その団結心と助力に感謝いたします。労力や時間を割いてくださった全世界のコーディネーターと児童図書館員の皆さん。展示用セットのために本をご寄贈くださった全出版社。デザイナー Adrian Vickers 氏（ASAP Digital Ltd、イギリス）およびイラストを使用させてくださった David Pintor 氏。最後に、E 部会役員の Jan Richardson 氏、IFLA プロフェッショナル・サポート・オフィサーの Megan Price 氏。彼らの助力がなければ、このプログラムは成立しなかったことでしょう。

このカタログやセットが皆さんにどうシェアされているのかお聞かせください。ぜひ私たちの Facebook へ自由にご投稿ください。平和を祈るとともに、世界中の皆さまに読書を楽しんでいただけますと幸いです！

絵本で世界を知ろうプログラム

世界の児童図書館員たちは、紙・デジタル版に関わらず、子どもたちにとって絵本がいかに大切かを理解しています。子どもの発達や文化的アイデンティティ育成に、1人で本を読むきっかけに、そして視覚認知能力を育てるのに有効であり、一緒に物語を読む大人との近さを実感するものとしても重要です。そのため、絵本作品を周知し手に取ってもらうことは、とても重要なのです。IFLA 児童書・ヤングアダルト分科会によって主催され、IBBY の協賛のもと開催される「絵本で世界を知ろうプログラム」の目的は、司書が推薦した世界の絵本セットを作ることです。

第3回となる今回は完全なデジタル版であり、カタログ・及びポスターは無料でダウンロードできます。本プログラムの詳細については <https://www.ifla.org/g/libraries-for-children-and-ya/the-world-through-picture-books/>から確認できます。

本プログラムの目的

司書が推薦する世界中の絵本を集めたセットを作ることが、本プログラムの目的です。こちらは、以下のような用途で使うことができます。

- ・世界の言語や文化、そして児童書の品質を貴び、周知するため
- ・各国で他国の作品を購入し、“お気に入り”の作品を見つけることを希望する国が活用するため
- ・姉妹図書館のつながりで、他の姉妹図書館の国の児童書を探求する手段とするため
(IFLA の姉妹図書館プログラムについては、<https://www.ifla.org/g/libraries-for-children-and-ya/sister-libraries-for-children-s-and-young-adult-s-reading/>をご参照ください)

作品選定にあたっての基準

各国は、以下の基準を満たす 10 作品を選定するように求められました。

- ・0～18 歳の子どもたちに相応しい作品である
- ・その国の出版作品のすばらしさを代表するような、時代を生き抜いた古典であるか、または古典となり得る作品を含める
- ・自国内で出版された作品である
- ・出版地の言語で出版された作品である

- ・出版物として高品質であり、読み聞かせもしくは子どもと一緒に読むのに適した作品である
- ・文章と絵が相互補完している作品である。ただし、文字なし絵本を選択対象から除く訳ではない
- ・前向きなメッセージを伝える作品である
- ・現在も出版され、入手可能な作品である

作品に明示すべき情報

各国は、リストの各作品について次の情報を提供するように求められました。

- ・ 作者名
- ・ 画家名
- ・ 原語でのタイトルとその英訳
- ・ 出版年月日
- ・ ISBN
- ・ 表紙のカラー書影（掲載の際には、出版社の許可を得る）
- ・ 作品の概要（英語・原語で明記）

各国の参加にあたって

新たな参加国と新しいコーディネーターをプログラムに募集するにあたり、「絵本で世界を知ろうワーキンググループは、これまでの参加国の全てのコーディネーターに呼びかけ、新しい選定リストの作成を依頼しました。さらに、SNS や IFLA の連絡網を通じ、他地域の IFLA 支部や分科会、国立図書館協会や IBBY に働きかけました。新型コロナウイルスの影響により一部の国は困難な状況に陥ったり、第 3 回プログラムへの参加を見送った国もありますが、結果的に 57 か国からリストが提出され、嬉しく思います。国内の人種、言語、出版背景が異なる複数の作品を選んだ国もあります。

各国の 10 作品は、各々の方法で選ばれています。中には IFLA メンバー、IBBY、図書館協会や様々な全国的な児童図書館、学校図書館協会と協力して選んだ国もあるようです。候補の募集にあたっては、オンラインでの調査や国を挙げての作品推薦、また全国規模の投票会を行う一方で、数人の司書の意見で選定した国もあります。各国のリストの冒頭で、それぞれ選定方法が説明されていますが、中には国内児童書の出版事情について説明をしている国もあります。

選定リストについての諸情報

選定リストにある作品は、各国が送付してきたままの順序で掲載されています。アルファベット順にしていたり、投票の際の投票数の順や優先度の順で並べたりしている国もあります。作品概要は英語と原語で併記されています。また、英語の単語表記も、各国が記載したまま掲載しました。より詳細を知りたい場合は、各国のリスト冒頭にコーディネーターの氏名と連絡先が記載されていますので参考にしてください。（※この翻訳版では、コーディネーターの氏名と連絡先は省略しています）

作品展示について

作品を寄付してくださった出版各社のご厚意により、第 3 版カタログの掲載作品の貸出セットが、新しく 2 セットできました。

展示セットは、日本とフランスの国立図書館にて所蔵され、希望するどの国の図書館にも貸し出されます。貸出しの際の費用は無料ですが、両国とも、郵送費、保険料、警備関連の費用は借受希望国側が負担します。

展示セット貸出の詳細については、以下の IFLA 当分科会のサイトをご参照ください。

<https://www.ifla.org/units/libraries-for-children-and-ya/>

当プログラムによる影響について

こちらは非常に有意義なプログラムであり、現在もなおその影響は拡大し続けています。

過去 2 回の選定リスト及び貸出セットは、世界中で有効に使われました。オーストラリア、日本、セルビア、そしてフランスの諸国は、展示セットを借り受けた際に、選定リストに関連したアクティビティを実施しました。各国で選定に従事した司書たちは、自国のために作品を選びリストを作ることを堪能し、かつ自国の豊かな児童書という財産を共有しながら、多くを学びました。当プログラムは、世界中の児童書及び絵本の出版業界を称賛する格好の機会を提供したと同時に、司書、出版社、作家、画家の間のグローバルな繋がりを強化しました。

以下の引用文にもあるように、出版社、作家、画家の面々は、特に司書によって作品が当プログラムに選ばれたことを、光栄に、誇らしく思っています。恐らく、当プログラムの最良の反響は、子どもたちが世界中の物語や絵と触れ合うことで、他者への共感や寄り添う気持ちを育むことです。

『絵本で知る世界の国々—IFLA からのおくりもの』第 3 版に選ばれたことは、ごく

一部の者のみが得られる名誉であり、責任は重大です。これは、多くの皆さまに推薦してもらった重みでしょう。IFLA 児童書・ヤングアダルト分科会の皆さま、本当にありがとうございます！」

「ごめんなさいの日」 画家、Dub Leffler（オーストラリア）

「児童書を書くのは、私にとって孤独な作業です。妻のために書いたこの作品を、世界中が称賛してくれていることをすばらしいと思います。それに、近年発表された美しい作品と共に選んでもらい、司書の皆さんがこの本を高く評価してくれたと考えると、感激します」

『いつまでいっしょ？』 作者、クリストファー・チェン（オーストラリア）

「第3版に選ばれたことを、この上なく光栄に思います。私にとって絵本は、幼児と現実の国際社会を結びつける重要な要素です。自分の子どもに人生のことを教える大人が、絵や言葉を使ってくれることほど、すばらしいことはありませんもの」

「フルーツ・フェスティバル」 作家兼画家、Frida Akoa（カメルーン）

「アフリカには、健やかに育つべき素晴らしい子どもたちがいます。彼らに夢を与える絵本に毎日触れさせるという私達の活動が、私達を満たしています。『絵本で知る世界の国々』第3版の選りすぐりの作品の一つに選んでもらえたことを、大変光栄に思います」

「Nzi é とライオン」 作者、Edmond VII Mballa Elanga（カメルーン）

「嬉しいお知らせをありがとうございます。Emanuela Bussolati 氏による素晴らしい小さな傑作『タリラタラレラ』は私を驚かせてやみません。2009年3月のボローニャ・ブックフェアで彼女が見せてくれた最初のラフに現れていたユニークさと実力を理解し、以降、数か月で彼女と作品を完成させ、同年10月末までに出版にこぎつけられる決意をしたことを、私は誇らしいことと思っています。本作品と Piripú 語への近年の支持の高さを私は信じられないくらいです…いったい誰が、この作品が「古典」の地位を得るなどと思ったでしょう」

『タリラタラレラ』 Carthusia 社、Patrizia Zerbi（イタリア）

「この度私たちの作品をカタログに掲載してくれた司書の方々に、感謝申し上げます。とても嬉しく光栄です」

「庭のなかの世界」 編集チーム Terre di Mezzo（イタリア）

「IFLA が選ぶ世界の傑作絵本の 1 冊に『みんなとちがうきみだけど』が選ばれたことを知らされたとき、彼らが吟味したであろう数多くの優れた作品を考えると、非常に光栄なことだと思います。Jacqueline Woodson の力強い言葉が私に絵を描く動機をくれました。この物語は幼い読者に、たとえ恐怖や孤独を感じていても、他者と繋がる力を見つけるよう促すものです。いかなる背景を持つ子どもたちもこの作品に自分が投影されていると感じ、自身の独自性を肯定してくれることを願います。『絵本で知る世界の国々』は、多様な児童文学へのラブレターであると言えるでしょう」

『みんなとちがうきみだけど』 画家、Rafael López (アメリカ合衆国)

『絵本で知る世界の国々』の活用法

図書館や学校が、当プログラムを上手く使う方法としては様々考えられます。このカタログを単体で使うこともできますし、すでに手元にある作品や購入予定の作品、セットの借用が適う状況であれば、一緒に紹介することが可能です。世界中の司書が、初版、第 2 版のカタログや掲載作品、貸出セットをどのように活用したのかを共有しています。加えて、新しく編み出した活用方法も一緒に披露しています。もし新しい活用方法を思いついたら、是非私たちにお知らせください。Facebook の IFLA 児童・ヤングアダルト分科会のページを通じてあなたの案をお寄せください。

以下は、展示セットを活用するための参照案です。

司書向けアイデアリスト

- ・もしあなたの図書館でこの展示セットの借用が不可能なら、自国の作品を 10 冊選出して展示し、子どもたちとその保護者に披露しましょう。または、他国の作品の自国語への翻訳版を展示するのも良いでしょう。
- ・自国のリストを使い、国内で出版されている絵本作品を周知しましょう。
- ・選書リストに目を通し、他国作品への知識を深めましょう。
- ・各国のコーディネーターを通じて、選定を行った司書とやり取りし、オンライン会議や相方向性プログラムを介してお互いに作品について議論しましょう。
- ・カタログに記載された情報をもとに、自身の図書館に他国作品のコレクションを構築しましょう。作品を選ぶ際は、自国語及び利用者に関連する言語（利用者が学校で習う言語や、家族が母国で話していた言語など）で作品を購入しましょう。これらの本を使ってアクティビティを企画しましょう。
- ・自身の地域にいる他の司書と定期的に会議を行い、作品についての議論や、購入可能または相互貸出が可能な作品について協議しましょう。

- ・自身の地域の外国語教員や言語コミュニティに、オンラインカタログを紹介しましょう。オンラインカタログ掲載作品を使ってどのような連携事業ができるか、検討しましょう。
- ・自国または他国の作家、画家、講演者を図書館に招き、子どもたちと直接あるいはオンラインで交流するイベントを開催するための募金を企画しましょう。
- ・絵本を使って、大人の識字グループや外国語学習者と実験したり、ヤングアダルト層と難しいトピックを探したりしまし

子どもたちや若者たちとのアクティビティ

- ・国を1つ選び、その国の選定リストに載っている作品をすべて読みましょう。その国の作家、画家について、また国についての情報を詳しく調べ、その国についての本を自分で作ってみましょう。
- ・国を1つ選び、児童それぞれ、またはグループで絵本を1冊取り上げ、表紙やタイトル、作品の作者や画家についてのポスターを作りましょう。その後、選んだ国の地図や写真などを載せたポスターを全員で作しましょう。
- ・子どもたちと一緒にカタログを使い、自分で絵本を制作することを勧めます。カタログ掲載作品のタイトルや概要を子どもたちに話して聞かせ、子どもたち自身に自分の本を制作させましょう。
- ・翻訳ツールを使い、作品の一節や作品概要を子どもたちに自国語に翻訳させましょう。これを通して、海外作品を自国語に翻訳する際の問題点を洗い出してみま

しょう。

- ・当分科会経由で姉妹図書館とつながりを持ち（参加図書館については、<https://www.ifla.org/g/libraries-for-children-and-ya/sister-libraries-for-children-s-and-young-adult-s-reading/>のリストをご参照ください）、その国の作品を使って子どもたちとのイベントを企画しましょう。
- ・自国でカタログ掲載作品を有効活用するため、アプリケーションや、デジタルディスプレイの開発を検討しましょう。

しょう。

- ・作品を選んで、子どもに演劇として表現してもらいましょう。
- ・国を一つ選び、一緒に選んだ子どもにその国のリストのコーディネーターと連絡を取ってもらい、その国の本についてもっと調べてもらいましょう。
- ・カタログからいくつか国を選び、そのカタログのページについて学びましょう。その国ではどの言語または複数の言語が話されているでしょうか？
- ・作品の表紙を見て、子どもたちがそれぞれの国の作品なのかを当てられるか確かめてみましょう。
- ・掲載作品の「二次創作作品」を書いてみましょう。特に自国語で書かれた作品以外の作品タイトルと表紙の絵から物語を想像し、自分自身の「その作品」を制作させましょう。
- ・子どもたちに、どの作品の表紙が一番好

きかを投票させましょう。

- 子どもたちに自国の作品から好きな本を選ばせ、自国の司書が選んだリストと比べてみましょう。
- 子どもたちに、自国または他国のリストから一番好きな作品を選ばせましょう。それから作品の出版社について調べ、他にどのような作品を出版しているのか等を調べてみましょう。
- 世界の絵本作品には、おとぎ話や食べ物、怖いもの、学校、色など、共通したテーマが多くあります。テーマを1つ選び、そのテーマの本を選んで調べてみましょう。
- 多くの作品が、自然界や動物、健康や感情といったテーマを扱っています。それらの本を使って、図書館で同じテーマの本を探しましょう。授業で扱うテーマと紐づけしてみましょう。
- 食べ物といった一般的なテーマを選び、作品の中でそのテーマを吟味したあと、料理、食品と健康といったテーマにさらに発展させ、レシピやメニューを考えてみましょう。
- 民話やおとぎ話の本を用いて、その作品の異なる結末を考えましょう。
- 地元のダンスグループと協力して、作品をもとにしたダンスプログラムを考えましょう。
- 地元の多文化グループと協力し、作品を用いて多様性や文化に関するテーマを探求しましょう。
- 作品をベースに、通りや市場、ビーチや学校といった背景設定に基づいた本のサ

ウンドトラックを作ってみましょう。

- 物語を1つ選び、それをもとにアニメーションの絵コンテを作りましょう。
- 子どもたちに好きな色を選ばせ、その色が表紙に使われている作品5冊を見つけてもらいましょう。それぞれの色味や表紙の共通点と相違点を議論させ、最後に全作品を見てもらいましょう。
- 姉妹図書館と連携し、自国のリストと関連があるアクティビティを企画しましょう。自身の図書館で、リスト中の作品を音読している子どもたちの動画を撮影し、姉妹図書館にも同じことをさせ、動画を共有しましょう。また、お互いの国で出版された同じ作品を見てみましょう。
- 自国で当プログラムの展示を行っている際、利用者に展示会に足を運ばせ、積極的に関与させる方法は多々あります。例えば、展示会に来るよう幅広い学級の来館を企画したり、作家や画家を招待して絵本を作る過程について子どもに話してもらい講演会を企画したり、他国の作家や画家や関係団体の代表者やスピーカーを招待して展示会を見てもらったりすることもできます。
- 複数の図書館で展示を実施することを通じて、フェスティバルや作家による読み聞かせ、セットに含まれる国々についての講演や食のイベントを企画しましょう。
- 来館した生徒たちに、当プログラムに参加している国々の、教室の壁に貼るための作品地図の作成をしてみるよう促し、それらの国々の知識を深めることをすすめましょう。

- 来館した学校関係者に、絵本が出版されたの国の図書館と姉妹図書館になるようすすめましょう（詳細は、<http://www.ifla.org/libraries-for-children-and-ya/projects> をご参照ください）
- 地理や文学、視覚芸術や言語の授業内容を、展示会と紐づけてみましょう。
- 国を1つ選び、リスト掲載作品の作家や画家の中で、現役で作品を制作している著者について、さらに知識を深めましょう。最も興味のある作品を1つ選び、それを読みましょう。それから、作家・画家に尋ねてみたい事柄を議論し、手紙を書きましょう。
- 他国の作品の絵を使い、子どもたちにそれがどのような物語なのかを発表したり、文章を書かせたりしましょう。その後、その内容と、実際にカタログに記載された物語の概要とを比較しましょう。
- 好きな絵本のミニポスターを作成しましょう。裏面には作家、画家についての情報や注釈を記載しましょう。それを図書館や教室内に掲示しましょう。
- 劇や人形劇などを用いて物語を上演しましょう。
- 興味がある作品を1冊選んで読んだ後、自分で表紙を作成しましょう。
- 子どもたちに馴染みのない言語の国の作品を使い、絵を見て自分だけの物語を書かせましょう。その後、カタログに掲載された概要と内容を比べてみましょう。
- 作品を何冊か選び、子どもたちに作品が

それぞれどの国のものなのかを当てさせましょう。その後、何故そう思ったかを聞いてみましょう。

- 作品を通じて、子どもたちに「共感する」とはどういうことかを考えさせましょう。子どもたちには読めない言語の作品を採り上げ、登場人物の表情や目、顔立ちを観察してもらいます。その後、子どもたちは登場人物たちがどういう気持ちだろうと考えたかについて、話してもらいましょう。
- 本（またはオンライン版）をベースに3Dアートのディスプレイを作りましょう。
- 作品の多くは、音楽や音の要素を含んでいます。それらをもとに、作品を音楽にしましょう。
- 子どもたちに、表紙に犬や猫、動物や家が描かれている作品を5冊探し出させ、その作品の類似点と相違点を議論しましょう。また、作品と一緒に読んでその作品で目にした物について、歌を歌ったり、絵を描いたりしましょう。
- リスト掲載作品の作家と、手紙やメールをやり取りしましょう。
- 視覚情報リテラシーの研修を行い、子どもたち向けのアクティビティを企画しましょう。オンラインで提供する資料や情報を用意して、企画を補足しましょう。
- カatalog掲載作品を用いて、海にまつわる絵本や、タイトルに地名が入った作品を探したり、または作品に箱や机はいくつ描かれているか探したりといった宝探しを企画しましょう。

作品の購入について

カタログ掲載作品は、多くの人々に支持され長く刊行されるであろう作品であり、地元の書店やオンライン書店で購入できるでしょう。各作品の出版社について、可能な場合はハイパーリンクが記載されており（※この翻訳版では省略）、またほとんどの出版社とはオンラインで連絡が取れるようになっています。

展示の次は何をするべきか？

カタログに目を通して活用しましょう。イベントを企画して、アクティビティ案を試すことを楽しんでください。また、新しい企画の案が浮かんだときや、成功した企画などについて、私たち IFLA 児童・ヤングアダルト分科会の Facebook ページにて是非共有してください。もし当プログラムのセットの借用が可能であれば、是非ご検討ください。もしあなたの国がこの第 3 版カタログに参加できなかったけれども、第 4 版カタログへの参加を検討中で詳細情報の入手を希望しているならば、その旨を Facebook 経由で私たちにお知らせください。

各国（地域）の選定基準

※カタログでは、各国（地域）の資料紹介の冒頭に選定基準が記載されています。下記の各項目において「以下のリストは」といった記述があるのはそのためです。

Argentina アルゼンチン共和国

こちらで紹介する作品は、私たちが絵本というジャンルを研究した結果として、そして国内で制作、編集された作品の中でもとりわけ優れた絵本を世界に共有するために選出された絵本です。国内の異なる地域出身の学生、教員や司書との講座や、キュレーター活動に携わる 3 名の専門家がそれぞれ教えるクラスでの経験をもとに選定しました。これらの作品は国内で出版された多くの絵本の一部に過ぎませんが、いずれも我が国の才能が溢れ出ています。また、以前の版に掲載されていた作品も選んでいます。このジャンルを開拓するアルゼンチンのアーティストは、実に様々な言語、様式を提示しているため、世界中の展覧会で選ばれています。絵と言葉、または言葉と絵が各々組み合わせたり、意味を伝えます。国内での絵本の発展、そして我が国の誇るアーティストたちの作品を丁重に高水準で出版する出版社を誇りに思います。

Armenia アルメニア共和国

10 冊のアルメニアの絵本の選定は、ヘンコ・アペル国立児童文学図書館の協力のもと、IBBY アルメニア支部によって行われました。これらの本はアルメニアの作家、画家及び出版者の共同作業を示しています。選定された本は図書館に通う人によく知られ、愛されており、かつ本プロジェクトの基準を満たしています。いずれも様々な色彩の素晴らしい絵があり、物語それぞれには前向きで教育的なメッセージが込められています。

Australia オーストラリア連邦

我が国の選定リスト作成にあたっては、**Claire Stuckey** 氏を議長に、**Nella Pickup** 氏、**Jackie Hawkes** 氏を補佐にした委員会によって調査を進めました。委員会のメンバーはいずれもオーストラリア児童図書評議会に長期にわたって籍を置いています。各メンバーは公共図書館員、学校図書館員としての幅広い経験があり、そのうち 2 つのグループは IBBY オーストラリア支部の全国執行委員会に所属しています。調査には、2015 年に発表された第 2 回版の選定リストと、国内の委員会によって選ばれた推薦図書一覧が含まれています。この調査は幅広い専門家のネットワークを駆使して数か月にわたって進められ、司書から候補として挙げられた作品について協議を行いました。2021 年発表の絵本

は、果たして基準を満たす水準の児童文学作品なのか、また、様々な理由から、その本は古典作品になりうるだろうかといったことを検討してきました。我々は司書として、作品を様々な点から観察しました。視覚的な美しさはさることながら、子どもたちがその物語にどのような反応を示し、かつ関わったのか、そして物語に込められたテーマはどのようなものなのか、といった点にも着目しました。また、選定リスト作成の際、ヤングアダルト層を含む全ての年齢層を対象とした作品を含める必要性についても、議論を重ねました。この企画によって、我が国が誇る多様な作家、画家が広く知られることを願ってやみません。『絵本で知る世界の国々』第3版は、それぞれの参加国の司書と世界中の熱心な司書（そして彼らの後援者）が、共に児童文学を共有し、探求し、称賛する機会を提供します。

Austria オーストリア共和国

本の選定は、オーストリア図書館協会の協力のもと、2021年に行われました。全国の司書に声をかけ、優れた絵本の投票が行われました。司書たちは、IFLAによって定められた基準（国内で出版されたものであること、18歳までの子どもに読ませるのにふさわしい作品であること等）を満たしていれば、どの作品でも推薦できました。40冊が候補に挙がり、もっとも多く票を集めた10冊が選ばれました。11の異なる出版社の本が含まれていましたが、最終的には3社のみが残りました。10冊のうち、最古の作品は1972年に、最新作は2021年に出版されたものです。なお、こちらのリストは、オーストリア図書館協会に所属する Catherine Nicholls 氏により作成されました。

Bangladesh バングラデシュ人民共和国

国内の絵本の中からたった10冊を選定することは難しい作業でした。近年、国内の出版社は5歳以下の児童向けの色彩豊かな絵本の出版を試みていました。この選定は、それぞれ児童図書の司書、乳幼児の専門家、学校図書館の司書、児童書出版社、児童書作家、教員から成る7名の様々な職業の評議員によって行われました。子どもにふさわしいタイトル、素晴らしい絵、テーマ、文字の字体、子ども向けの言葉と文を基準にして選定されました。

Benin ベナン共和国

私たちのリストは、ベナンフランス研究所図書館との協力の結果です。ベナンフランス研究所図書館の代表司書である Léon Djogbenou 氏と児童書部門担当司書である Thecle Hountonnagnon 氏には、この場を借りて感謝申し上げます。ベナンはフランス語

を公用語とするアフリカの小国ですが、その豊かな文化は、とりわけ若年層向けの文学作品に反映されています。出版社の中でも **Ruisseaux d'Afrique** 社は明らかにもっとも重要な立場にあり、それは作品の選定にも表れています。

Bolivia ボリビア多民族国

ここ 20 年間、ボリビア児童文学協会主催で、国内作品のコンテストが開催されています。そこで推薦された作品がこのリストに載っています。評議員は、皆その分野では著名人である作家や司書、画家や研究者で構成されています。評議員に選ばれた作品の中から、絵本としての定義を満たすものや、今でも手に入るもの、不朽のものを選びました。私たちは、国内文学が存在し、今までより生き生きとしていることを嬉しく思います。というのも、様々な生態地域、集団、伝説、住民の想像力の領域を探求するタイトルを持つ文学であるからです。

Brazil ブラジル連邦共和国

ここ数十年の間に、国内における児童・ヤングアダルト向けの文学は発展を遂げ、今日は独創的かつ編集上も高品質な本を読者に提供します。1968 年設立の **FNLIJ-IBBY** ブラジル支部は文学作品の記憶を守り、同時に作品のタイトル、作家、画家、出版作品の批評、宣伝、評価におけるパイオニアです。特に、毎年表彰される文学賞は、受賞作に「最推奨」のシールが貼付されるほか、毎年優秀な作品が選定され、「**FNLIJ** 文学賞」を授けています。今回挙げた 10 冊は、ブラジルのイラストレーションを代表するものとして示されており、絵が添えられた、もしくは優れた文章と絵のハイブリッドの物語作品です。以前の『絵本で知る世界の国々』を構成する作品の他に、今回の版には、**FNLIJ** 読者投票グループを構成する研究者たち、つまりここに挙げられているタイトルの短いテキストを書いた方々の目を通して、パフォーマンスを支える品質基準に照らして選ばれた、この 6 年間で **FNLIJ** に表彰された画家の作品も含まれています。

Cameroon カメルーン共和国

『絵本で知る世界の国々』第 3 版のための 10 冊の絵本の選定は、**IBBY** カメルーン支部(カメルーン児童図書評議会)の監督のもとで行われました。2021 年度 **ASMAC** 評議会所属の出版・グラフィックアート部門における子どもの専門家たち (**Pigha Pénanjo Danielle** 氏、**Gessica Nguefack** 氏、**Annita Nchiosseno** 氏)に加え、多くの人がプロジェクトに貢献しました。中でも特に、国立図書館の法定納本担当である文書の専門家の **Robert Bognolock** 氏、芸術文化省にて朗読会担当の部局長を務める **Kampoer**

Kampoer 博士、首都ヤウンデの IFC にて児童部門を担当する Edith Noga 夫人、そしてガルア AFC メディア・ライブラリーの Basile Netour 氏にはとてもお世話になりました。最終的な選定には、範囲を 1995 年から 2006 年に限定し、さらに 2016 年と 2018 年から 2 つの選択肢を入れました。選定にあたっては、作品の重版の回数、翻訳、版ごとの発行部数、国内外で賞や報酬を得たことがあるかなどが考慮されました。

Canada カナダ

カナダ児童書センターは、全国の専門家からなる委員会を組織し、絵本 10 冊を選びました。委員会には、様々な市町村や州レベルの学校司書や公共図書館司書も含まれています。また、委員会の委員全員が専門家間のネットワークを駆使し、各地域から推薦図書を募りました。IFLA の基準を念頭に置きながら、委員会が選定の際に重きを置いたのは、カナダの多様性を表現した作品を選ぶことでした。本リストには、2 つの公用語である英語、フランス語で書かれたもののほか、古くからこの国に住む人々の言語であるクリー語やオジブワ語等も含まれます。評議員の、ピール地域教育委員会 Jennifer Brown 氏、マニトバ州フランス語教育資源局 Heather Brydon 氏、オンタリオ州図書館サービス Nancy Cooper 氏、ヴィアモンデ教育委員会 Eugenia Doval 氏、ノバスコシア州立図書館 Ray Fernandes 氏、バンクーバー公共図書館 Jamie Fong 氏、Grandes-Seigneuries 学校サービスセンター François Forest 氏、PEI 公共図書館サービス Roseanne Gauthier 氏、モントリオール図書館 Sophie Kurler 氏、リバーサイド教育委員会 Gigi Nadeau 氏、ウィニペグ公共図書館 Tamara Opar 氏、アルバータ州政府公共図書館サービス支部 Colette Poitras 氏、バンクーバー教育委員会 Michelle Valdecantos 氏、そして L'or-et-des-Bois 学校サービスセンターの Pierre Van Eeckhout 氏に感謝を申し上げます。

China 中華人民共和国

中国文学の歴史は長く、現在まで多数の絵本を出版してきました。以下に紹介する絵本は、中華人民共和国児童図書館協会の専門家団体（首都図書館が結成）によって選定されました。まずはリストの完成という目標のもと、10 館の大型児童図書館の貸出データを使って、どの本がより多く貸出されているかを調査し、その結果 22 作品が選ばれました。次に、司書、作家、画家、批評家や教員からなる 15 名の専門家を招き、投票によって最終的に 10 冊を選びました。これらの本はいずれも絵やデザインが素晴らしく、子どもたちはこれらの本を読み聞かせをしてもらったり、自分で読んだりすることで、想像し、夢を見たりします。

Croatia クロアチア共和国

クロアチアの児童・ヤングアダルト図書館サービス委員会は、クロアチア図書館協会の公共図書館部門の一団体です。2005 年以降、委員会は「児童・ヤングアダルト・保護者のための良書リスト」を出版し続けており、国内外の作家の手による優れた作品の注釈付きリストを含んでいます。このリストは、子どもや若者を相手に仕事をする司書である、クロアチア図書館協会の児童・ヤングアダルト図書館サービス委員会のメンバーたちによって作成されています。その選定は、絵や文章と言語の品質、そして内容の適正さに基づいて行われました。リストの作成には、いくつかの理由があります。まずは保護者に、幼年期からの子ども向けの高水準な文学作品や、育児の分野の専門的な文学作品を知らせるため、また、教育者や教員たちに幼年期からの子ども向けの教育分野の良質な文学作品をお勧めするため、若い読者に良質で興味深い文学作品をすすめ、良い読書を心から楽しんでもらうため、そして司書たちに過去に国内で出版された良い文学作品について周知するためです。ここで示した 10 作品は、2012 年から 2020 年までの「児童・ヤングアダルト・保護者のための良書リスト」に選出されています。

Denmark デンマーク王国

リストの作品は、デンマークのオーデンセ市の中央図書館の司書である Søren Dahl Mortensen 氏と、ブックブロガーである Josefine Lergaard Piibl 氏によって選ばれ、IBBY デンマーク支部によって承認を受けたものです。また、デンマーク国立図書館協会から支援を受けています。

Dominican Republic ドミニカ共和国

ドミニカ共和国の絵本は、児童書の分野の司書や研究員の協力のもと、IBBY ドミニカ共和国支部によって選ばれました。この作品は、文章、絵ともに国内外の作家によって描かれ、地方を含む様々な出版社によって出版されました。これらのタイトルには、ドミニカ共和国文化にはなじみ深い伝統や価値観のもと多岐にわたるジャンルが示されています。作家たちは、ドミニカ共和国文化が若い読者たちの中で、このスペイン語を話すカリブ海のユニークな国への所属と祝福への招待として生き続けることを願っているのです。

Egypt エジプト・アラブ共和国

この絵本リストは、「児童とヤングアダルト文学のゴールデンガイド」の著者で、編集

者と学校図書館司書である Amira Abed 氏によって編集されました。エジプトの学者 Motawy 氏（「波間の静寂：子どもの絵本と現代エジプト社会」2021）は、2000 年から 2020 年の間に、美学、テーマ、質といった分野への新しい関心という面で大きな変化があり、エジプトの絵本制作に新たな波が訪れたようです。エジプトが初めて「絵本で世界を知ろうプログラム」に参加するために選定した本はすべて、アラブの絵本の中でも、その質の高さで受賞しています。出版社、図書館、絵本を応援する人々への取材によると、イッティサーラート賞はアラブの児童文学賞の中で最も名誉ある賞と目されており、この選書はその受賞作で構成されています。この賞は、「[子どもたちの]想像力を育み彼らの夢を励ます」本を大事にしており、今回選ばれた本とともに、過去 20 年間の想像力豊かなエジプト絵本の世界を紹介しています。この選書は、著者、画家、出版社だけでなく、アラブの児童文学賞業界と、子どもの生活と心を反映する「新たな傑作」を生み出す試みを探求する道を築きます。

El Salvador エルサルバドル共和国

このリストは、学校図書館で確かな経験を持つ司書たちが、IFLA 児童図書選考委員会の基準に従って選びました。エルサルバドルの子どもたちに文学がより近いものとなるために、自費で出版した人々の努力は際立っており、特に GRELISAL—エルサルバドル児童青少年文学作家ギルドの貢献は大きなものです。このリストは、元図書館学キャリアコーディネーターの Helen Guardado 氏と、エルサルバドル大学、エルサルバドル国立図書館元館長、エルサルバドル図書館協会—ABES の活動メンバー、GRELISAL 創設メンバーの多大な協力を得て作成されました。

Estonia エストニア共和国

この選書は、エストニアの県の図書館と市の中央図書館の児童図書館員 61 名が行いました。このプロジェクトの基準を満たす優れたエストニア絵本のリストをもとに投票が行われ、エストニア児童文学センターが編集しました。最終リストは、司書の投票結果をもとに、センターが作成しました。このリストには、いつの時代ももっとも人気のエストニア絵本（「古典」）と、時代を超えた内容を持つ現代作品の両方が含まれています。

Eswatini エスワティニ王国

こちらは、エスワティニ国立図書館サービスの複数の司書が選んだ本です。これらの本はスワジ人によってエスワティニ王国で出版されており、0 歳から 18 歳までの年齢層の読者に適しています。司書は通常、国の納本法に従います。それは、保存研究と後世の

ために、国内のあらゆる資料を国立図書館、エスワティニ大学図書館、エスワティニ国立公文書館に自費で納本することを出版社に義務付けている法律です。本の人気自体は重要ではありませんが、リストに掲載されてから人気になるものもあります。また、これらの本は各図書館の司書によって年齢層やテーマごとに選ばれています。選ばれた本は、図書館が新しく入手した本である場合もあります。テーマの人気も時には選定に影響を与えます。場合によっては、その国の特定の時期に影響力のある人や人気のある人に関する本があれば、司書によって選ばれることもあります。要約すると、これらの本はすべて、若者がエスワティニの伝統、信念、文化的価値感を守る助けになるだろうという理由で選ばれました。親のアドバイスを尊重しなかったことで直面する結果について、人生の教訓を若者に与えるという理由で選ばれた本もあります。

Finland フィンランド共和国

フィンランドの絵本リストには、公用語であるフィンランド語とスウェーデン語の両方で書かれた、古典と現代の人気作品が選ばれました。一番古い 1952 年出版の、ムーミン、ミムラねえさん、リトルミイの絵本は、フィンランドのすべての絵本の伝統を方向付けた、トーベ・ヤンソンの画期的なデビュー作です。フィンランドの選書リストのほとんどの本は、2010 年から 2021 年の間に出版されています。新しい絵本作家の登場により、フィンランド絵本の伝統が過去 10 年間にどのように変化し、強力に成長したのかということがわかります。絵の役割も明らかに進化しています。現代のフィンランド絵本の絵は、言葉による物語を装飾的に補うだけのものから、言葉と同じくらい重要な部分となりました。文と絵が協力して意味を生み出しているのです。これらの作品のテーマは古典的で、友情、家族、自分らしく生きる方法を見つけるというものです。温かさとユーモアがたくさんあり、選ばれたほぼすべての本は、子どもの視点が中心となっています。

France フランス共和国

CNLJ—国立児童文学センター—が選んだ作品の中から、もっとも良い絵本 10 冊を、フランス全土の児童図書館員によるオンライン投票で決めました。

Germany ドイツ連邦共和国

ベルリン中央州立図書館の児童・ヤングアダルト図書館の支援のもと、列举された基準を満たし、かつ図書館教育の観点から推薦される、お気に入りの絵本 10 冊が、ドイツの全連邦州の児童図書館によって選ばれました。

Greece ギリシャ共和国

この選書リストは、4つの図書館で作成され、児童文学作家である Vagelis Iliopoulos 氏が再検討しました。絵が素晴らしい作品だけでなく、いじめ、移民、歴史、自立、罪悪感の管理、感情表現、異なるものへの寛容さを学ぶこと、といった幅広い社会問題に関心を向ける作品が選ばれました。これらの作品は、古典から現代まで、有名な作家やあまり知られていない作家が書いた作品であり、子どもと大人の両方から愛されています。声に出して読むと魅力的で、寸劇や舞台演劇にもなります。ギリシャの作家が書いたギリシャの物語ですが、万国共通の物語でもあります。

Guadeloupe (France) グアドループ

グアドループの選書リストは、グアドループ県立図書館、ベッティノー・ララ・カリビアン図書館、ポワンタ・ピートル公共図書館の司書と、グアドループの児童書愛好家の協力で作成されました。2015年の選書を完全に一新した、5つの出版社による、2014年から2021年の間に出版された絵本から構成されています。様々な絵のスタイルとテーマは、グアドループの若者のための本の豊かさを証明しています。選ばれた絵本はグアドループ県議会が組織する「カリブ海児童文学」コンテストにおいて、異なる版で受賞した作品です（「小さな青い石」と「私の小さな国」）。

Guinea ギニア共和国

IFLA「絵本で世界を知ろうプログラム」への参加は初めてであり、ギニアの選書は、ギニア文化庁、コナクリのフランス文化協会、そして COBIAC（司書と文化活動家の組織）によって運営されている専門的な教育課程の一環としての、CELPAC 公共読書ネットワークの司書によって行われました。ここに選ばれた絵本は、司書たちの読解力と分析能力だけでなく、感性を反映しています。子どもの生活状況と日々の現実に触れ、司書たちは古典と考えられる古い絵本と、2018年にエルヴェ・ジゴ賞を受賞した「聖なる森」のような最近の絵本を好んでいます。これらの絵本はすべて、ガンダル出版社より出版されています。

Haiti ハイチ共和国

この選書のために、私たちは本と子どもに関わる何人かの当事者と連絡を取りました。彼らに関わる子どもたちにもっとも評価されている10冊を、各々あげてもらいました。8つのリストが提出され、合計36冊の本が候補になりました。私たちはそこから、もっと

も繰り返し読まれている 10 冊の本を選びました。この事業に協力してくれた、国立図書館の Watson Francois 氏、Rossinie Michel 氏、Shelson Hermoza 氏、作家、Steph Madison 氏、Ericca Lagrandeur 氏、Joe Jean Charles 氏、Joslyn Previlus 氏、Berthony Auguste 氏、Judeline Mazile 氏の各氏に感謝します。

Hungary ハンガリー

ハンガリー司書協会委員会（AHL）が、AHL 児童部門の司書、ハンガリー学校図書館員協会、エルヴィン・サボー・メトロポリタン図書館の子どもドラゴン図書館、そしてエトヴェシュ・ロラード大学の図書館情報学の学生の推薦をもとに、ハンガリーの絵本を 10 冊選びました。彼らはハンガリーの豊かな児童書 144 冊を選びました。AHL の委員長である、Agnes Hajdu Barat 教授が選出された過程を整理し、推薦を要約しました。選ばれた本は、素晴らしい絵と肯定的なメッセージをもち、子どもの想像力を豊かにするよう作られています。

Iran イラン・イスラム共和国

言語と文化は、物事を考え意味を見出すための手段であり、幼少期はその 2 つを習得するのに、人生でもっとも適した時期です。物語の世界では、子どもが自分たちの文化遺産を守り、かつ他国の文化遺産について学ぶ機会を得られます。これらの価値を学ぶことは子どもたちにとってとても重要で、個人的および社会的な価値観を発達させるために不可欠な要素です。そして本とは、このような遺産を世代から世代へ伝えるための道具となります。

文化の違いを考慮して、人間の概念の肯定的なメッセージを伝える本をいくつか入れましたが、これは私たちが子どもたちに育んで欲しい要素です。『絵本で知る世界の国々』のための選書は、IFLA が定めた基準に則り、文化や文明、神話、民族的なまたは固有の象徴といった、あらゆる側面を考慮しました。

選ばれた本は、教育問題、絵の創造性、文学的内容という点において価値のあるものに注意を払いながら、深淵な教訓と人間の概念に焦点を当てています。これらの本は、イランの子どもたちの読書の好みをもとに、イラン全土の 7000 人の司書によって選ばれており、それらが他国に古代イランの文化を伝える、虹の架け橋になることを願っています。

Ireland アイルランド

アイルランドの『絵本で知る世界の国々』の調整は、地方公共団体管理機関が主体となって取りまとめました。様々な年齢層の読み書き能力と読書能力の向上を促進する国家プ

プログラム「読む権利」の地元コーディネーターを通して、公共図書館ネットワークからボランティアが募集され、11 人のボランティアによる作業グループが形成されました。推薦作品は、すべての公共図書館から募集しました。国内の出版社にも、現在出版されている絵本のリストを提出するよう呼びかけました。推薦された作品はすべて、作業グループによって批評され、基準に照らして慎重に検討され、作業グループは全会一致でこの選考に同意しました。

Italy イタリア共和国

イタリア図書館協会の児童図書館常任委員会は、イタリアのコーディネーターである Antonella Lamberti 氏と協働して選書を進めました。45 冊の絵本を選定後、国内の児童図書館員を対象にオンライン調査を行い、投票の結果 10 冊が選ばれました。もっとも票を集めた本の中には、2014 年版にすでに掲載されている 5 冊が含まれており、これらが不朽の名作であることがわかりました。また、新たに選ばれた 5 冊のうち、4 冊が文字なし絵本であったことも注目に値します。テキストがないことは読み書き能力の観点から有益であり、これらの作品では、素晴らしい絵によって言語の壁が取り去られ、誰でも物語を「読む」ことができます。イタリアの絵本出版は豊かで活気があり、このリストでその一部をお見せできることを喜ばしく思います。このプログラムは、発行部数に貢献しています。それは、物質的かつ文化的な境界を乗り越え、異なる国が相互に理解しあうための、豊かな機会である、この興味深い世界的な情報共有のおかげです。

Ivory Coast コートジボワール共和国

コートジボワールの選定は、2015 年に引き続き、BNCI（コートジボワール国立図書館）の児童・ヤングアダルト担当司書のチームによって行われました。最新のコートジボワールの絵本を紹介するため、選書冊数は絞られています。

Japan 日本

カタログ第 3 版に掲載する日本の絵本の選定は、IFLA 児童ヤングアダルト図書館分科会の日本選出常任委員及び日本図書館協会児童青少年委員会が中心となり、行いました。選定に際しては、同分科会が設定した基準のほか、日本独自に、赤ちゃん絵本、科学絵本、写真絵本、文字なし絵本、平和や SDGs を意識した絵本を含めることを基準に追加し、日本の多様な絵本の現状を反映できるよう意図しました。Google フォームを用いてアンケートを行い、62 名の方々から約 270 タイトルの推薦を得、得票数と上述の基準に照らして 10 冊に絞り込みました。このセレクションは 2021 年現在のみなさんの好きな絵本の

一例ですが、日本の絵本の多様性を感じていただけたと思います。

Kenya ケニア共和国

児童担当の司書が、本の貸出統計から、もっとも利用の多かった 10 冊を選びました。

Korea (Republic of) 大韓民国

国立子ども青少年図書館は、子どものための国立図書館サービス評議会の分科会である、児童資料部門の 19 名の委員による推薦をもとに、10 冊の韓国の絵本を選びました。児童資料部門は公共図書館や児童図書館で児童・青少年を担当する 19 名の司書で構成されています。この委員は児童書の書評の執筆もしており、全国の児童図書館員に共有されています。「絵本で世界を知ろうプログラム」のために、委員によって優れた絵本 25 作品が選書され、著名な児童文学作家であるキム・ジウン氏が最終選考を行い、以下の 10 作品が選ばれました。

Macao (SAR) マカオ

マカオ図書館情報管理協会は、児童・ヤングアダルト図書館分科会の選書基準に加え、地域の歴史、文化や、自然環境に関連する本、人と人とのつながりをさりげなく伝える本に注目しました。また、年齢層ごとの異なる解釈に応じて作られた本にも注目しました。私たちは、党派に左右されない書評や批評を集めるために本を送り、最終的に、思慮に富む 8 冊の絵本を選ぶことができたことを誇りに思います。

Madagascar マダガスカル共和国

これらの作品は、具体的には、私が連絡を取った作家によって現代的な作品として選ばれた作品であると同時に、2022 年 4 月にアンタナナリボで開催された「世界本の日」の展示で私自身が選定した作品でもあります。そして、これらの作品は世界中の子どもたちがマダガスカル文化や伝説についての本を見つけるために選ばれています。このリストのうちの 2 冊は、子どもたちの学習や、市民教育の向上に役立つ本です。また、このリストは Jeunes Malgaches 社の作家である Marie Michèle Rakotoanosy 氏と共同で作成されました。Mpariaka Boky Madagasikara 社の作家である Lalao Elina Razanadriaka 氏にも協力していただきました。

Malaysia マレーシア

マレーシアの文化と、SDGs の目標 4「質の高い教育をみんなに」と目標 11「住み続けられるまちづくりを」に基づいて、現在のマレーシアが抱える問題に関連する本が選ばれました。マレーシア政府は、新型コロナウイルス流行下で教育の質を維持するために、教育の改革や、特に幼い子どもたちを対象とした、教育におけるデジタル・リテラシーへの挑戦に取り組みました。また、環境インフラの総合的な供給を促進する絵本も選ばれており、読者にプロギング（ジョギングしながらゴミ拾いをする）を紹介します。マレーシア図書館協会の学校図書館委員会の委員が、このプログラムにふさわしい絵本を選定する審査員を務めました。

Mexico メキシコ合衆国

今回の選書は、メキシコ国立自治大学（UNAM）のトラテロルコ大学文化センターの芸術連携部会の **Alaíde Foppa** コミュニティ図書館が、年齢も背景もさまざまな読書の推進に関わる専門家の間での非公開の呼びかけから行われました。リストはまず、匿名で個別に作成され、その後比較され、共通して挙げられている作品は特定され、準備リストが作成されました。準備リストは後に、結果の確認や修正を目的とした議論のために提示されました。歴史的な評価を考慮する人もいれば、技術的な基準を無視する人もいました。この作業を通して、メキシコ（絵で語る豊かな伝統を持っています）における絵本の手法について、受容、出版史、絵本認識論といったはっきりとした筋道を立てて新しい議論を始めることができました。このリストは、作家、**El Aleph Reading Room** のコーディネーター、**Leetra** 独立出版社のメンバー、フリーランスの研究者、**LIJ Ibero Journal of the Universidad Iberoamericana** の研究者、図書館総括部長と中央図書館（UNAM）のデジタルとデータサービスのスタッフ、**Uvejota** 図書館ブログと **Liternas y Bosques** 児童・ヤングアダルト文学ブログの著者が関わっています。

Netherlands オランダ王国

この 10 冊の推薦絵本リストは、オランダの図書館の青少年担当の専門家から成る代表団と、本を贈る取り組みであるオランダのブックスタート運動の代表チームによって取りまとめられました。

New Zealand ニュージーランド

IBBY NZ は児童図書館の専門家を招き、旧版の『絵本で知る世界の国々』に掲載され

た作品を見直し、更新しました。とても考えさせられる、挑戦的で楽しい作業でした。新たな選書の中には、長く愛されてきた多くの作品に加え、若い読者に心から歓迎されている、マオリやパシフィカの視点を特色とした2冊の現代的な作品が紹介されています。この選書リストは、ニュージーランド独自の視点が表現された絵本の祝典です。

Nigeria ナイジェリア連邦共和国

ナイジェリアの良質な絵本を特定するために、ナイジェリア学校図書館協会の学校司書とメディアスペシャリスト、児童文学を専門とする図書館教育者、ナイジェリア大学ヌスカキャンパスの児童センター図書館アフリカ児童文学研究コレクションに相談をしました。ナイジェリアでは教科書出版に重きが置かれていますが、質の良い絵本を出版している出版社を2社見つけることができました。アブジャの **Cassava Republic Press** とラゴスの **Kachifo Limited** (Farafina Tutti imprint 傘下) です。どちらの出版社も、新しいナイジェリアの小説や、その他の文学を幅広く出版しています。アブジャの、新しくロンドンに拠点を増やした **Cassava Republic Press** から回答をいただいたので、三作品をここで紹介します。

Norway ノルウェー王国

ノルウェー図書館協会の児童・ヤングアダルト部門とノルウェーの **IFLA** 会員が協力して2015年にこのプロジェクトに取り組みました。このリストは、この数年間で出版された新しい作品を含む、2015年のリストの更新版です。今回の版の選書は、ノルウェー図書館児童・ヤングアダルト部門によって2022年に行われました。紹介されている本は、ノルウェーの絵本市場の多様さの一部を示しています。司書は、これらの本は幼稚園や小学校における子どものための読み聞かせを伴う司書の仕事を推進する、素晴らしい物語であると述べています。これらの本は司書たちによって高く評価されており、このリストを世界のもっとも優れた絵本の国際的な選定のために送り出せることを嬉しく思います。

Philippines フィリピン共和国

これらは、私たちの国の文化を描く、子ども向けに書かれた作品のほんの一部です。全国で子どもたちに読み聞かせをしている人々がよく使う本に基づいて選書されています。どの作品も、コピーがフィリピン国立図書館に所蔵されています。司書の方は、ぜひ選書された作品を参考にしてください。

Portugal ポルトガル共和国

この選書は、国立公共図書館ネットワーク（RNBP）に所属する司書たちによって行われました。

まずはネットワークに現在加盟している 241 の図書館に連絡を取り、プロジェクトについての説明と参加の呼びかけをした後、すべての図書館に対し、選書基準に沿って 10 冊の本を推薦するように依頼しました。そして、図書館にもう一度、推薦されたすべての本の中から、『絵本で知る世界の国々』第 3 版にポルトガルの選書本とすべき本で、好みの本を選んでもらいました。この取り組みには、選考の過程で 195 の図書館が参加し、おおむね 50 作品が挙げられました。

Qatar カタール国

カタールには、カタール＝アラブの豊かな遺産があります。旧ブルームズベリー・カタール出版財団の Hamad Bin Khalifa 大学出版の助力がなければ、先人の語る物語は失われていたでしょう。この出版社の作品の多くがカタールの古典となり、英語にも翻訳されました。例えば、選出した 2 作「Hamda と Fisaikra」や「Abu Derya に対する勝利」は、地域に伝わる昔話を再話したもので、ペルシア湾の豊かな伝統を物語っています。これらはアラブの世を生きる子どもたちに、忍耐や無条件の愛、楽しさといった重要なテーマの本に親しんでもらうこと、そして、優れた楽しい本や子ども向けの活動的な図書館は、学校に通う子どもたちが皆利用できるべきだ、というメッセージを伝えることを目指しています。

Romania ルーマニア

最初の絵本のリストをコーディネーターが作り、その後、公立図書館のための国立ルーマニア協会（ANBPR）のサポートを得て、メール経由でルーマニアの全公共図書館に所属する児童・ヤングアダルト部門の司書に、そして学校図書館員を含む会議に議案が提出されました。ルーマニアのトップの 10 冊の絵本を決めるために、大きな協議が行われました。経験豊かな司書から多くの回答を収集し、最終的に司書の協力のもとに、10 冊の絵本が選出されました。

Russia ロシア連邦

ロシア国立児童図書館の専門家が選出した 10 冊は、子どもと大人の本選びのトレンドが反映されています。児童書出版は現代ロシアでルネッサンス期を迎えています。ぼう大

な素晴らしい（古典や現代的な）本から 10 冊を選ぶのは困難でした。専門家たちが選んだのは、主に現代の作家や画家による本です。これらの作品は一緒に読むのにぴったりで、様々な世代を一つにし、話し合いや議論、思い出を共有する機会をもたらします。これらの作品はデザイン面でも興味深いものです。

Serbia セルビア共和国

前回のコーディネーターであった同僚と私は、この第 3 版に向けたプロジェクトをブログ、メーリングリスト、**Facebook** のグループで通知し、インターネット上での投票を呼びかけました。リストの 10 冊は、セルビア全土の公共図書館で働く司書による投票を加味して選出されました。

Singapore シンガポール

私たちは、シンガポールおよび／あるいはその多様な文化が、友情、愛、家族といった普遍的な価値観とともに特色となる作品、文と絵の質が良い作品、子どもが長く好む作品、受賞作に注目して本を選びました。シンガポールの公共図書館で児童書を選書する、収集企画開発チームの司書とともに、『絵本で知る世界の国』第 3 版のためにシンガポールの選書絵本を刷新しました。

Slovenia スロベニア共和国

この 10 冊の絵本は、リュブリャナ市立図書館（ピオニルスカ青少年文学図書館司書センター）と IBBY のスロヴェニア支部が選びました。選出された本は、語りの力や非凡な絵で様々な世代の読者の想像力を捉える優秀なスロヴェニアの作家・画家による様々な現代の傑作を含み、国内外でスロベニア絵本のイメージや居場所を形成することに一役買っています。しかし、このリストには、デビュー作で非常に強い印象を残した若い作家たちも含まれています。ここに掲載された絵本はすべて（若い）読者同様批評家からも人気が高く、スロベニアの主要な賞や、児童文学と青年文学賞の受賞作です。さらに、すべての本が **Golden Pear** の品質マークを受け、いくつかは **Golden Pear** 賞を受賞しています。これらはリュブリャナ市立図書館（ピオニルスカ青少年文学図書館司書センター）が授けるものです。リュブリャナ市立図書館（ピオニルスカ）が年に 1 回刊行する「児童書の読書品質マニュアル」でも特集されており、今回の選定はこのマニュアルにも適応しています。国際的な絶賛も得ており、作家や画家は国際的な賞（国際アンデルセン賞やリンドグレーン記念文学賞）にノミネートされ、IBBY オナーリスト、『ホワイ特・レイブズ』、ランペドゥーザ島の図書館のサイレント・ブックス・オナーリストなど、優れた児童書・

ヤングアダルト作品の国際的なリストに選出された本もあります。この選定リストで、私たちは、スロベニアの児童書が持つハイレベルな創造性に注目を集めたいと考えています。その独創性や普遍性は、国際的な児童書界隈を豊かにすることができるでしょう。リストに記載の出版年は、原則として初版年です。

South Africa 南アフリカ共和国

南アフリカは 11 の公用語を持つ素晴らしく多様な国です。選出する本を考えるにあたって、数名の学校図書館員にコンタクトを取りました。その後、可能性のある本のリストから専門家に考えを尋ねました。Khumo Tapfumaneyi 氏は、www.ethnikids.africa という、子どもが自分のような登場人物に会える、全公用語で書かれている本を取り扱う事業を母親たちと始めました。Lorato Trok 氏は早期のリテラシー・コンサルタントで、特にアフリカの言語で書かれた幼い子ども向けの楽しい本の読書を発達させる専門家です。私の同僚の Mabone Sintu Ngamlana 氏にはコサ語の翻訳で助けられました。私たちが住む西ケープでは、コサ語がもっとも多く話されています。本を批評するとき、翻訳は書き手の母語で行います。私は選書に向けて、アイデンティティをテーマに決めました。南アフリカはここ 20 年間以上、重要な過渡期にあり、すべての本が私たちの美しい虹色の国家に住む子どもたちのアイデンティティを語っています。本を検討したのは、学校図書館員の Bev Pettit 氏と私です。私たちの選んだ南アフリカの本を楽しんでいただけると幸いです。

Sweden スウェーデン王国

スウェーデン各地の経験豊かな児童図書館員たちは、各々好きな 10 冊の絵本を選出しました。そして、スウェーデンの全公共図書館の司書が、最終的にカタログへ掲載したい本の投票を行いました。その結果がこのリストです。スウェーデンの司書のお気に入りの 10 冊となっており、古いものも新しいものも見事に含まれています。

Switzerland スイス連邦

スイスの 4 つの言語を話すすべての地域を包括するこのリストは、スイス・ビブリオメディアとスイス児童・ヤングアダルトメディア研究所 (SIKJM) が選びました。スイス・ビブリオメディアは公共図書館のための全国規模の資料室です。SIKJM は全国規模の児童文学センターで、児童・ヤングアダルト文学領域の講習やプロジェクトを提供し、図書館をサポートしています。選書の基礎となったのは、すべての公用語である 4 言語で書かれたスイス児童文学の場면을網羅する知識と、スイス国内の公共図書館との良い相互関係

でした。両機関はスイスの全4地域の司書と綿密に協力しています。多くのスイスの作家や画家は外国（ドイツ、フランス、イタリア）の出版社に依拠しています。スイスは小国であるため、出版社の数が非常に少なく、児童書を出版する会社の数はずっと少ないのです（イタリア語を話すスイスの地域には、出版社は一つ也没有）。この状況は選書にも反映されています。

Turkey トルコ共和国

トップ10冊の絵本の調整は、2022年、IFLA 児童・ヤングアダルト図書館分科会会員の **Sevgi Arioglu** 氏が引き受けました。トルコの文化、家族、社会、価値観、友情、自然や生命を映し出す絵本のリストは、出版社や作家、学校図書館司書のフィードバックをもとに作成されました。

Ukraine ウクライナ

ウクライナ国立児童図書館およびウクライナ児童図書館員協会の代表者一同、IFLA に対し、このカタログに優れたウクライナの児童書を掲載するという栄誉をくださり感謝いたします。国際的に名誉ある賞の受賞作や、それとは対照的にウクライナの多くの世代の人々を成長させ、優しさや好奇心を大事にし、尊重することを伝えてきた本もあります。それらを読むことで、戦争によって家を失った子どもたちは元気づけられ、正義への信念を保つことができます。掲載されている本は、ウクライナ国立児童図書館と、ウクライナ全土の児童図書館員やその利用者によって選ばれました。

United Arab Emirates(UAE) アラブ首長国連邦

アラブ首長国連邦の選書は、国際児童図書評議会 UAE 支部 (UAEBBY) によって行われました。各作品を慎重に体系的なプロセスに従って選出しました。まず、私たちはアラブ首長国連邦の出版社によるブックリストやカタログを要請し、すべてを吟味し、主題にもとづいて最終候補を選びました。それから、2021年11月に開催されたシャルジャ国際ブックフェアで、選書リストの10冊を考え出すために、本の実物をチェックする機会に恵まれました。リストにある本のいくつかは、UAEBBY が運営するイッティサーラー ト児童文学賞といった様々な賞の受賞作です。それは、広く認められた専門家による評価を受けていることを意味します。最終段階では、子どもたちに選ばれた本を読んでもらい、彼らの反応を見ました。その反応によって、私たちはこの選書に満足しています。

United Kingdom 英国（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）

イギリスの絵本トップ 10 の調整は、大英帝国勲章受章者で Authors Aloud UK のディレクターである Annie Everall 氏が、リテラシー・デジタル・学校図書館顧問 Bev Humphrey 氏の助力を得つつ、引き受けました。2 人は公立図書館、学校図書館、そしてリテラシー部門で幅広い実務経験があり、国内にとどまらず、国際的な専門委員会に長年従事しています。

最初に、高学年の子ども及び教育図書館員協会（ASCEL）、図書館・情報専門家協会（CILIP）、学校図書館グループと児童図書館グループ、学校図書館協会、児童図書連盟および学校図書館員ネットワークのメンバーに対して、2 作品を推薦するよう要請がありました。そして、推薦された本は、第 2 版に掲載された 10 冊のイギリスの古典絵本と一緒にリストアップされ、図書館員が、新しく推薦された本と、以前に推薦された傑作絵本と、どちらに票を投じるか選択できるようにしたのです。

電子投票フォームが作られ、図書館員自身が投票できるよう、上述の団体に送られました。イギリスの児童図書館員・学校図書館員に選ばれた上位 10 冊の本です。

USA アメリカ合衆国

IFLA 児童・ヤングアダルト図書館分科会会長とメンバーである Ludy Rueda 氏、Srah A. Evans 博士、Marianne Martens 博士が、アメリカの推薦図書を集めるグループを組織しました。このワーキンググループは専門的知識を有する以下のグループ、すなわち、児童図書館サービス部会（ALSC）、米国図書館協会（ALA）児童メディア賞委員長、Reforma Colorado、JESSE Listserv（図書館および情報科学教育者が対象）に対して 3 冊の図書を推薦するよう要請しました。オンラインのフォームを通して回答を収集し、ワーキンググループが提出された作品を吟味し、もっとも推薦の多かった作品を順位づけし、現代のアメリカ絵本の基準となる多様なリストを作成しました。